

本事業のポイント

1. 防除方法を明確にすること

- ①日々の巡回指導
- ②パンフレットの作成
- ③対策の**評価**

今日の話の中心

2. 捕獲効率を上げる行うこと

- ①ビデオによる行動観察
- ②設置場所、餌、トリガーなどの研究
- ③既存の檻を再構築する

捕獲のまとめ

- ・設置場所、餌、トリガー……検証実験
- ・低コスト、低労力で多頭数を計画的に
- ・見回りの重要性
- ・警戒心く食欲……被害個体の除去

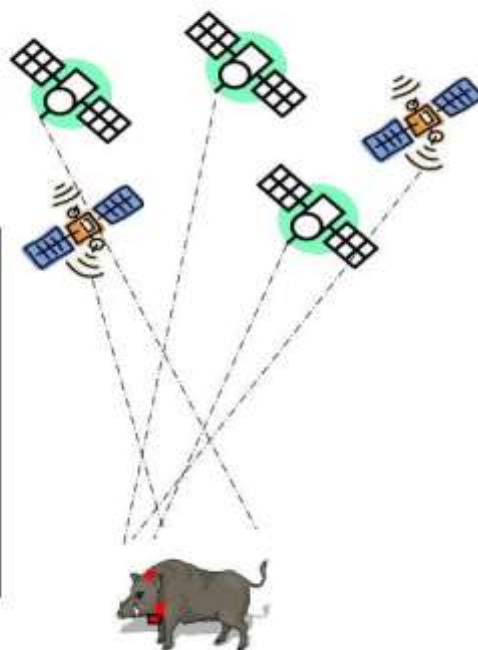
～新たな試みと課題～

合同会社 宮城・野生動物保護管理センター
代表 宇野 壮春

新たな試み

■ GPS発信機をイノシシに装着
時間指定で30分に1回データ取得

- ・移動ルート、行動圏、活動時間
休息場所……



実際の作業



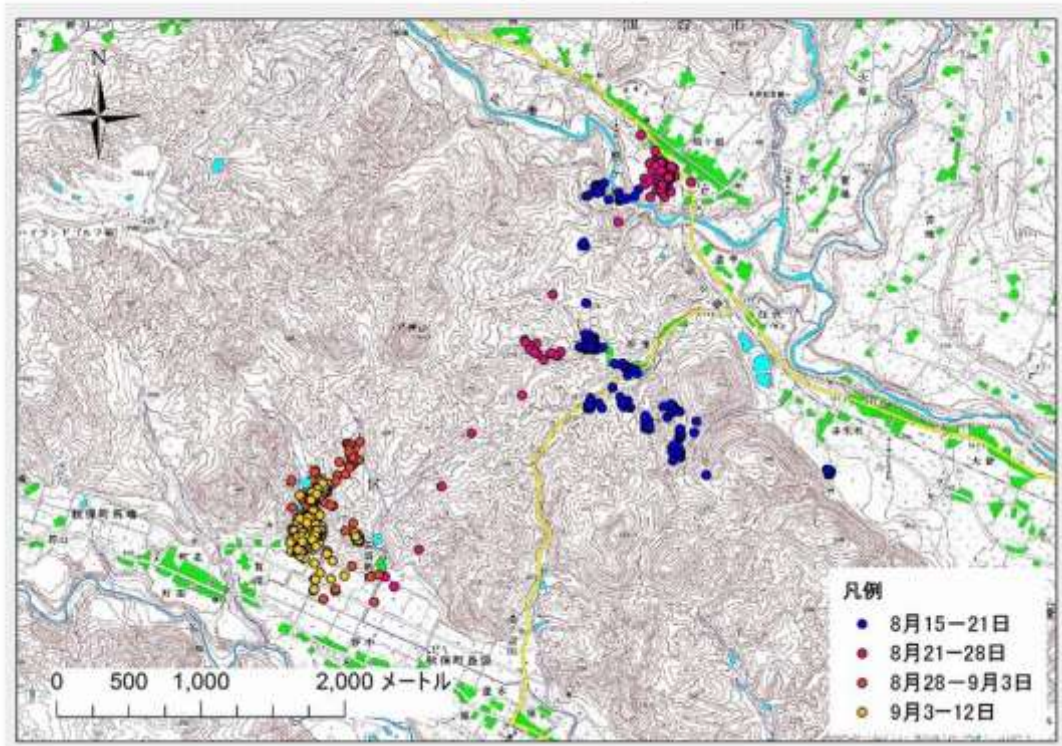
麻酔にて保定



GPSの装着



GPSデータ



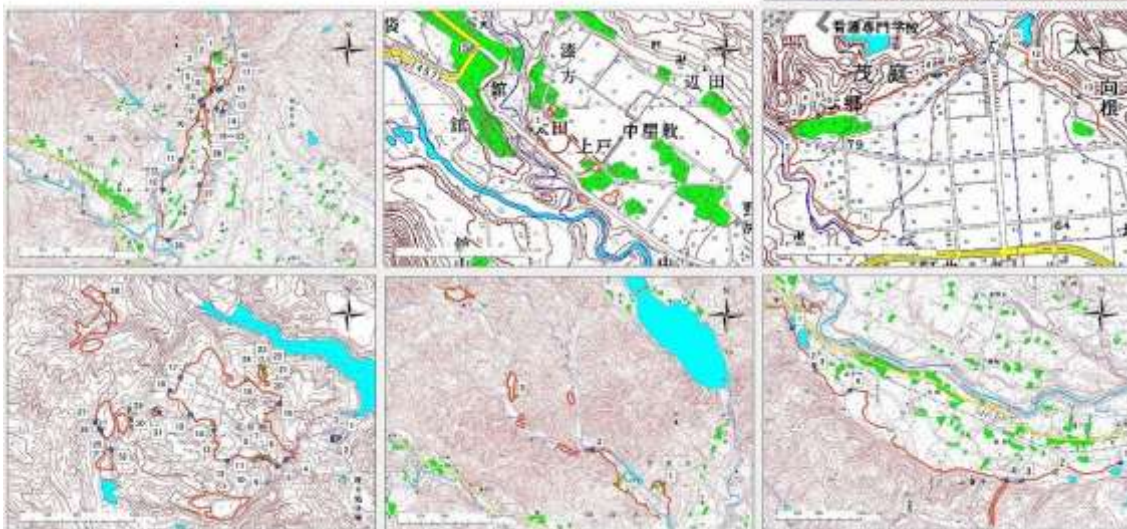
大規模防除柵の見回り

- ・大規模防除柵は地域の財産
- ・財産は地域で守っていくもの
- ・メンテナンスが必要



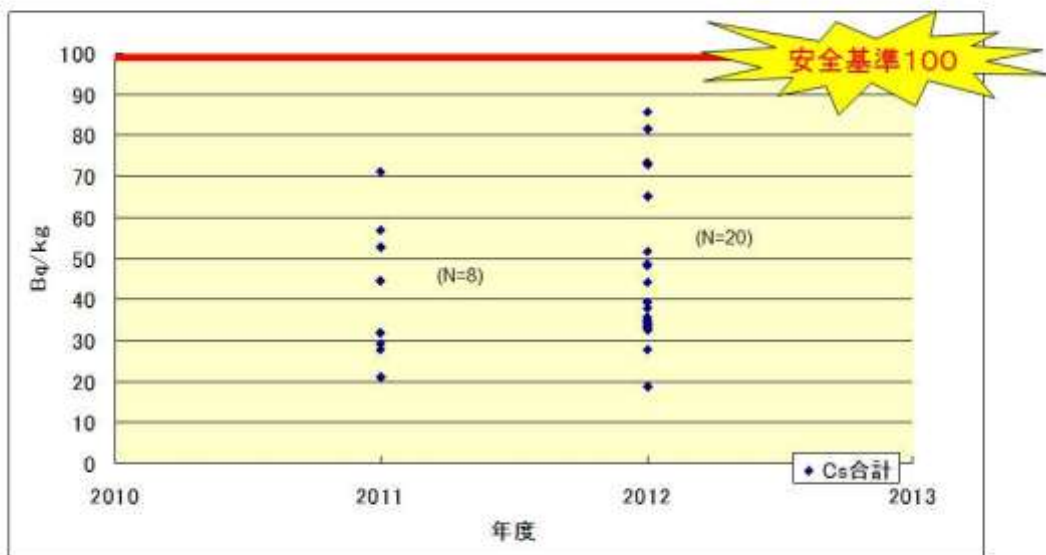
大規模防護柵の見回り(7月にセンターが実施)

破損箇所、不具合が数多く見つかる。
動物、倒木、漏電など……





イノシシの放射能汚染(仙台市)



分析器:NaIシンチレーション,Cs合計(Cs-137+Cs-134),宮城・野生動物保護管理センター調べ

今後の見通し(課題)



- ・捕獲効率をあげる方法の開発
- ・被害対策のモデル地域を増やす
- ・各地域に見合った対策を立案
- ・仙台市内における行動や生態の研究
- ・イノシシのモニタリング調査の確立
- ・捕獲の担い手の育成
- ・解体場所の整備
- ・放射能汚染のモニタリング



最後に



野生動物問題(サル、イノシシ、クマ、シカ・・・)

- ・本気で解決する気があればできる
- ・利用するツールはたくさんある
- ・震災復興でもう一步先に





「イノシシ研修会」

宇野社春(宮城・野生動物保護管理センター)

ご清聴ありがとうございました。